

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	果樹園芸総論						授業形態	講義	
科目コード	710015	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	前田 隆昭								
授業概要	<p>本授業の目的は、果樹の生理・生態の基礎を理解しながら、栽培や生産の基礎知識を習得することである。また、果樹園芸に関する基礎的な専門用語も習得する【知識・理解の育成】。 果樹園芸総論では、果樹の諸特性について浅く広く習得する。</p>								
関連する科目	果樹園芸学をもっと深く学びたい学生は、2年次後期の果樹園芸各論を履修することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行う【知識・理解の育成】。その後、小テストについて解説した上で、授業を始める。授業はパワーポイントを用いて行う。授業日は週間授業ではなく、前期の土曜日・日曜日に集中講義として実施する。								
授業計画 【第1回】	第1回 果樹園芸の特徴と生産・消費の動向【講義のはじめに、成績評価の解説を行う】 果樹園芸学の特徴と国内・海外の果樹の生産および消費の動向について学ぶ。								
授業計画 【第2回】	第2回 種類と品種Ⅰ 果樹の種類と各々の品種特性について学ぶ。								
授業計画 【第3回】	第3回 種類と品種Ⅱ 果樹の種類と各々の品種特性について学ぶ。								
授業計画 【第4回】	第4回 種類と品種Ⅲ 果樹の種類と各々の品種特性について学ぶ。								
授業計画 【第5回】	第5回 環境と果樹の生態Ⅰ 主に温度や光と果樹の生育について学ぶ。								
授業計画 【第6回】	第6回 環境と果樹の生態Ⅱ 主に水や風、地形などと果樹の生育について学ぶ。								
授業計画 【第7回】	第7回 育種Ⅰ 果樹育種の現状および特徴について学ぶ。								
授業計画 【第8回】	第8回 育種Ⅱ 果樹の育種方法について学ぶ。								
授業計画 【第9回】	第9回 繁殖Ⅰ 種子繁殖と栄養繁殖について学ぶ。								
授業計画 【第10回】	第10回 繁殖Ⅱ 栄養繁殖について、さらに詳しく学ぶ。								
授業計画 【第11回】	第11回 開園と植栽 園地の整備や栽植の方法について学ぶ。								

授業計画 【第12回】	第12回 花芽形成と結果習性 果樹の花芽分化や結果習性について学ぶ。
授業計画 【第13回】	第13回 受精と結実 受精に影響する要因や結実について学ぶ。
授業計画 【第14回】	第14回 果実の発育 果実肥大や発育に関わる要因について学ぶ。
授業計画 【第15回】	第15回 果実の成熟と収穫後生理 果実の成熟と追熟について学ぶ。
授業の到達目標	1. 果樹の諸特性について、果樹の生理・生態の基礎を理解しながら、栽培や生産の基礎知識を習得することを目標とする。【専門分野の知識・理解の育成】 2. 果樹園芸に関する基礎的な専門用語を身につける。【専門分野の知識・理解の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に予習箇所を指示するので、事前に予習をしておくこと（約1時間）
授業時間外の学修 【復習】	毎回、講義の最初に小テストを行うので、前回の講義内容について復習しておくこと（約1時間）
課題に対する フィードバック	小テストおよび最終試験は、終了後解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 受講態度および小テスト：43点 2) 最終試験：57点
テキスト	特になし
参考書	米森敬三 編 「果樹園芸学」 朝倉書店 杉浦 明 他 編 「果実の事典」 朝倉書店 志村 勲 他 著 「果樹園芸（第2版）」 文永堂出版 間苧谷 徹 他 著 「新編 果樹園芸学」 化学工業日報
備考	